

所属・氏名（ 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 氏名：加藤 茂幸 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 膝前十字靭帯再建術後スポーツ復帰した大学スポーツ選手の3種類のジャンプ着地の比較《筆頭論文》	共著	2022年	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌	本研究ではACL再建術後スポーツ復帰した選手を対象に両脚ジャンプ着地(CMJ)、片脚ジャンプ着地(SCMJ)、ホップ動作(HOP)時の下肢の非対称性について検討した。 (p156-157) (加藤茂幸、浦辺幸夫) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2 (学術論文) 膝前十字靭帯再建術後スポーツ復帰した女子バスケットボール選手の両脚着地タイミングと着地優先脚《筆頭論文》	共著	2021年	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌	本研究はACL再建術後スポーツ復帰している選手のジャンプ着地動作時の着地タイミングと着地優先脚について検討した。ACL再建群の両脚着地の床接地の時間差はコントロール群に比べ大きかった。 (p66-67) (加藤茂幸、浦辺幸夫、森川将徳) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3 (学術論文) 膝前十字靭帯再建術後スポーツ復帰した選手の両脚着地タイミングの非対称性について《筆頭論文》	共著	2021年	Journal of Athletic Rehabilitation	本研究はACL再建術後スポーツ復帰している選手のジャンプ着地動作時の床反力および屈曲角度、着地タイミングの非対称性について検討した。ACL再建群のジャンプ着地動作の各測定項目に非対称性を認めた。 (p21-26) (加藤茂幸、浦辺幸夫、白川泰山) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4 (学術論文) 3次元有限要素モデルを用いた膝関節スポーツ外傷発生シミュレーション:前十字靭帯損傷に伴う半月板損傷および内側側副靭帯損傷の例《筆頭論文》	共著	2020年	Journal of Athletic Rehabilitation	本研究は外傷受傷時の膝関節のキネマティクスおよび角速度を反映させ、関節角度の経時的な変化に伴う内側側副靭帯および外側半月板、前十字靭帯への負荷を視覚的に示した。 (p33-37) 加藤茂幸、永山則之、浦辺幸夫、白川泰山 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5 (学術論文) 前十字靭帯損傷リスク予測ツールによる大学女子バスケットボール選手の新入生と上級生の比較《筆頭論文》	共著	2019年	運動器リハビリテーション	本研究ではACL損傷リスク予測ツールを大学女子バスケットボール選手に実施し、新入生と上級生を比較した。新入生のACL損傷リスク予測値は70.7%だった。 (p300-305) (加藤茂幸、浦辺幸夫) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能

令和 4年 6月 20日 現在